



あべ 新一 議員
(新 生 会)

問

浦の浜地区
広場の

整備完了時期は

答

6月ごろの

見込み

浦の浜地区で進んでいる、パークゴルフなどができる広場の計画について、工事の概要、施設の規模、完成までの日程等は。

佐藤町長 施工箇所は船越家族旅行村水辺公園内で、整備面積は約1万5千平方メートル、エリア内に3コース27ホールの

パークゴルフ場と通路200メートルを整備する。現在、コース設定に合わせた敷地造成と通路整備を進めている。その後、芝生整備となるが、

植物の成長が活発になる春以降に施工する必要があることから、工事完了時期は4年6月ごろになる見込みである。



整備が進められている船越家族旅行村水辺公園内のパークゴルフ場予定地

問

荒神海水浴場付近
再開発しては

答

今後の課題とし研究していく

町の交流人口を拡大するためにも、過去に多数の観光客が訪れた荒神海水浴場付近をキャンプ場などで再開発し、誘客に努めるべきでは。

町長 荒神海水浴場周辺は三陸復興国立公園に指定されており、施設整備を行う場合は環境省の承認が必要となる。再開発に関し宮古自然保護官事

務所に問い合わせたところ、「排水対策が不十分であり現状では難しい」との回答だったが、荒神海水浴場は本町自慢の観光スポットであり、キャン

プ場として利用できるかなれば、さらに多くの誘客が見込めるものと考えられる。今後の課題として研究していく。

問

ウニ蓄養と藻場対策
今後の活動は

答

他地域を注視し
方向性を模索する

各地区で磯焼け対策が進んでいる。大変良いことだが、ウニが海の邪魔物扱いされているように思われるのは、自分だけであろうか。ウニは海中の藻の発育を邪魔しているが、漁業者の所得向上には必要な磯根資源である。今は蓄養方法と藻場対策の両方を再認識し活動していかねければならないと思うがどうか。

町長 藻場の再生には藻場の造成とウニの間引きが効果的とされている。間引きウニの蓄養・出荷ができるのであれば漁業所得の向上にもつながると考える。一方、県内で行われているウニ蓄養の実証試験では、実入りの向上は確認されているものの、採算面の課題が残っている。町内の漁協では藻場造成事業に着手したばかりであるが、他地域の蓄養事業を注視しながら、次に進むべき方向性を模索していく。